

平成31年度 川和高等学校 不祥事ゼロプログラム

川和高等学校は、事故不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり「不祥事ゼロプログラム」を定める。

1 実施責任者等

- ・神奈川県立川和高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。

2 目標・行動計画

取組み課題		目 標	行 動 計 画	検証 結果
1	法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底)	職員一人ひとりに常に公務員としての自覚を持たせ、公務外非行を防止する。	①事故防止会議、不祥事防止研修会等で公務外非行に関する注意喚起を繰り返すことで、教育公務員としての自覚を深める。 ②職員同士がコミュニケーションを取り合える、風通しの良い職場づくりを推進する。	
2	わいせつ・セクハラ行為の防止	職員や生徒の人権を守るための取組みを通して、わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	①わいせつ・セクハラ行為の防止を目的とした啓発資料等をもとに研修会を実施する。 ②携帯電話等は教育上必要な、緊急性を要する業務上の連絡に限って使用し、生徒とのSNS等の利用禁止を徹底する。 ③不祥事防止の観点から教科準備室等の適切な利用を推進し、密室化などを防ぐ。 ④生徒に対する相談体制を整備する。	
3	体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切指導を未然に防止する。	①啓発資料等をもとに、人権に関する内容を盛り込んだ研修会を実施する。 ②体罰や不適切指導防止に関する事故防止会議、不祥事防止研修会等を実施する。	
4	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づき、点検を確実にを行い、成績処理及び進路に係る事故を防止する。	①定期試験実施時期に、非常勤講師を含め職員全員で成績処理の進め方を確認し、確実に実行する。 ②相互チェック機能を強化し、マニュアルに則った点検を徹底する。 ③進路関係の業務は、担任や担当者任せにせず、学年・進路グループ全員で対応する。	
5	個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する。	①個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深めるための研修を実施する。 ②校務フォルダ及び暗号化システムの利用を徹底し、USBメモリーの不適切使用を防止する。 ③個人情報の紛失・誤廃棄などを防止するため、持ち出し許可は必要最低限とするなどの個人情報登録に係る手続を徹底する。 <u>また、定期試験前後にシュレッター使用制限期間を設け、事故防止を徹底する。</u>	

6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守を徹底し、「飲んだら乗るな、乗るなら飲むな」を徹底し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図る。	①職員啓発資料等をもとに、交通事故等の防止に向けた研修会を実施する。 ②研修等を通して、軽微な違反もしないという高いコンプライアンス意識を醸成する。	
7	業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	法令・要綱・マニュアル等諸規程に基づき、日常点検や相互チェックを行ない適正に業務を遂行する。	①各種業務遂行に当たり、定められた手続等を遵守するとともに、複数による点検を的確に行い、不祥事防止の徹底を図る。 ②管理職等への「ほう・れん・そう」を徹底し、不祥事の未然防止を図る。 ③情報共有、業務協力体制を確立し、特定個人に負担がかからないよう留意する。	
8	会計事務等の適正執行	県費及び私費会計について、適正な執行、現金の適切な管理等により、会計に係る不祥事を防止する。	①会計事務にかかる諸規程の遵守、予算の計画的な執行及び複数による確認等の徹底により、不適正経理を防止する。 ②「私費会計事務処理の手引」に基づく執行方法の周知を図る。	
9	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務における事故不祥事を防止する。	入学者選抜に係る事故防止会議やマニュアルの徹底、職員研修会等により事故防止の徹底を図る。	
10	不祥事根絶	不祥事防止に向けた注意喚起	①不祥事を防止するために、全職員を対象とした校長との個別面談を年2回実施する。 ②年代・職階別不祥事防止リーフレットを用いた効果的な啓発を行い、不祥事を防止する。	

3 検証

2に規定する行動計画について、令和元年10月中旬に実施状況の中間検証、及び令和2年3月初旬までに各目標の達成についての検証を行う。

4 実施結果

3の検証を踏まえた「検証結果」を、川和高校ホームページに掲載する。

5 次年度計画の策定

平成31年度不祥事ゼロプログラムの検証結果を踏まえて、令和2年度不祥事ゼロプログラムを策定する。